

## 令和2年度 事業報告

(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

### (研修事業関係)

- 1 新型コロナウイルスによる感染症の拡大のため、全国篤志面接委員大会（中央研修会）及び矯正管区管内篤志面接委員研修大会（地方研修会）のすべてを中止した。
- 2 初任者研修（中央研修会）の開催を同様に中止した。
- 3 矯正管区管内篤志面接委員教養訓練の開催を同様に中止した。  
ただし、福岡矯正管区管内においては令和2年12月から令和3年1月までの間に「①職親プロジェクト企業による教育支援について、②本音を引き出す面接力、③再犯防止施策について」というテーマで書面にて教養研修を実施した（篤志面接委員57名、関係者19名、合計76名参加）。
- 4 研修教材「私の指導事例集」の作成・刊行  
様々な専門分野で活躍している全国の篤志面接委員約50名から実際の活動事例に関する報告原稿をいただき、それを取りまとめた研修教材「私の指導事例集」（ページ数177頁）を作成・刊行し、全国の篤志面接委員や関係者に配布した。

### (表彰事業関係)

- 1 従来通り、篤志面接活動に功績のあった篤志面接委員20名に対して会長表彰を実施した（表彰状の交付は各施設の長に依頼）。
- 2 篤志面接活動に功績のあった篤志面接委員に対する法務大臣感謝状の授与に際して祝意を表した（感謝状の交付は各施設の長に依頼）。

### (慶弔事業関係)

篤志面接委員の慶弔に際して、表敬・慰謝を行った。

### (広報・機関誌事業関係)

- 1 ホームページを更新し、内容の充実と広報活動の充実を図った。
- 2 機関誌「全篤連だより」を令和2年7月、同3年2月に発行した。
- 3 ほぼ1年延期された後の令和3年3月7日から同月12日までの間京都市で開催された第14回国連犯罪防止刑事司法会議（京都コンGRESS）に展示参加し、来場者に対して連盟と篤志面接委員の役割等について解説した英文リーフレット等を配布し、広報に努めた。

### (事務局関係)

- 1 事業運営目標達成に向け、その基礎となる次の点に留意した。

- (1) 引き続き、税理士と契約し財務の指導を受けるとともに、監事による10月までの上半期の中間監査を実施するなど、財務状況の把握を確実にした。
- (2) 京都コンGRESの展示参加に際して報道対応するなど、広報活動の積極化に努めた。
- 2 ネット環境を活用したオンライン会議（例えば理事会など）の開催ができるよう、その試行に努めた。
- 3 予算執行について
  - (1) 公益目的事業会計について、JKAからの補助金が前年度と同額を内示されたところから、あらかじめ地方研修大会の開催及びその準備に必要な経費を調査した上で予算配布し、効率的・効果的な執行に努めた。（結果的には、地方研修大会の開催は中止となった。）
  - (2) 法人会計については、予算の経費節約に努めた。

(その他の事業関係)  
特になし